

国立環境研究所福島支部

三春町出前講座 2018

～ 現在と将来の地域環境を考える ～

1 / 14 日
2018. 14 日

入場無料
事前申込不要

場所 | 三春交流館「まほら」 小ホール

時間 | 13:30 ~ 16:10 (受付 13:00 ~)

国立環境研究所では、2016年、三春町にオープンした環境創造センターに福島支部を開設し、東日本大震災後の福島の復興・再生に向けた研究活動を行っています。

福島支部で進めている研究を町民の皆様を紹介するとともに、三春町の現在・将来の地域環境などについて皆様と一緒に考えていけるよう、下記のとおり、三春町出前講座を開催致します。4つの講演のほか、休憩時間には色々なサイドイベントも予定しています。

どなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

プログラム

開会挨拶 (13:30 ~ 13:35)

国立環境研究所福島支部が進める災害環境研究について (13:35 ~ 13:55)

国立環境研究所福島支部 研究グループ長 林 誠三

河川・湖沼の魚や水生生物における放射性セシウムの動き (13:55 ~ 14:25)

国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室 研究員 石井 弓美子

私たちは、福島県の河川やダム湖などで淡水魚や水生生物の放射性セシウムの動きについて、調査を行っています。これまでに分かっていることや今後予想される推移などについて紹介します。

三春町内における自家消費野菜等の放射性物質濃度の推移及び傾向

三春の里ベクレルセンター 安齊 和夫 氏

(14:25 ~ 14:40)

三春町が運営する食品等放射能検査所がこれまで実施してきた検査の結果から分かった、食品の放射性物質濃度の推移や傾向について紹介します。

休憩 / ポスターセッション、サイドイベント (14:40 ~ 15:10)

地域社会と環境の将来をシミュレーションモデルで考える (15:10 ~ 15:40)

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室 主任研究員 五味 馨

環境の良し悪しは私たちの生活や産業と密接に関っています。今のような取り組みをすることで、地域の将来がどうなっていくか。より良い今と未来のために必要なことを考えるシミュレーション研究を紹介します。

総合討論 (15:40 ~ 16:00)

閉会挨拶 (16:00 ~ 16:10)

主催：国立環境研究所 福島支部

共催：三春町

後援：福島県、日本原子力研究開発機構

■問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所福島支部管理課 TEL:0247- 61-6561 9時～17時(土日祝日を除く)

三春町役場住民課生活環境グループ TEL: 0247-62-2147 9時～17時(土日祝日を除く)